



## アメリカザリガニとニホンザリガニは、どちらがうの

### ふつう見かけるザリガニはアメリカザリガニ

よく見る、赤くて大きなはさみをもつザリガニは、アメリカザリガニです。日本にいるアメリカザリガニは、1930年、アメリカのニューオーリンズから、食用ガエル（ウシガエル）のえさとして100匹き輸入されたものから始まりました。長い船旅の後、20匹きだけ生きて横浜の港につき、カエルの養殖池に放されたものが、大雨で池の水があふれたとき、にげだし、本州の各地にふえ広がったとされています。

### 大雨や台風のときなど、遠くへ広がった

なぜ日本中に広がったのでしょうか。その理由は、日本には、アメリカザリガニの天敵になるようなものがいなかったこと、アメリカのぬま地と似た田んぼや池があり、気候が似ていたこと、ザリガニがじょうぶで、よくふえる生き物だったこと、人間があちこちに運んだことなどが、あげられています。台風や大雨などのとき、ザリガニは水に流されて、ずいぶん遠くの池や田んぼまで旅をし、すみかを広げていったのです。

### ニホンザリガニは、北の地方の谷川などにいる

日本には、谷川のような水のきれいな所にしかすめないニホンザリガニが、昔からいました。体長が10センチメートルくらいあるアメリカザリガニに比べ、ニホンザリガニの体長は3～4センチメートルと小さく、色も黒っぽく地味で、体が平べったい感じですよ。今では、ニホンザリガニは、青森、秋田、岩手などの東北地方から、北海道の日高山脈より南の地方でしか見られません。（監修・安部 義孝）

